氏名	浅川泰宏	部署	共通教育科	職名	准教授
研究分野	文化人類学、民俗学、宗教学				
学位	博士（社会学）				
学歴	1997年3月慶應義塾大学総合政策学部卒業、2000年3月慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修了、2003年3月慶應義塾大学大学院後期博士課程単位取得退学				
経歴	2008年4月埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2013年4月埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	日本文化人類学会、日本民俗学会、日本宗教学会、「宗教と社会」学会、徳島地域文化研究会				

【2024年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作(著書及びその他の著作物)						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	四国遍路と世界の巡礼 下—最新研究にふれる八十八話—	共著	あり	創風社出版, 226ページ	愛媛大学四国遍路・世界の巡礼研究センター編	2025.3
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	近代四国霊場の組織化—四国霊場讃岐寺院会の10年史—	単著	あり		四国遍路と世界の巡礼, 第10号, 54-65	浅川泰宏
2	コロナ禍の聖年—2020年～2023年の調査から—	単著	あり		史苑, 第85巻第2号, 34-54	浅川泰宏
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	講組織集団から見る日本文化の変容と再生産	共同		2024年度立教大学史学会大会, 東京	○市田雅崇, ○浅川泰宏, ○乾賢太郎, ○井上卓也, ○笠井賢紀, ○高木大祐	2024.6
2	教養教育としての民俗学：保健医療福祉系大学での実践から	単独		日本民俗学会第76回年会, 東京	○浅川泰宏	2024.10
3	近代四国霊場の組織化	単独		日本山岳修験学会第44回學術大会, 徳島	○浅川泰宏	2024.11
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			オンライン化がもたらす巡礼文化の変容に関する宗教民俗学的研究	研究代表者	2021.4～2025.3
2	日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究B）			霊場資料学の構築と霊場文化の解明による四国遍路の総合的研究	研究分担者	2020.4～2025.3
3	埼玉県立大学奨励研究費A			巡礼の「杖立」に関する宗教民俗学的研究—篠栗新四国霊場を事例として	研究代表者	2024.4～2025.1

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	文化人類学	○	15	異文化理解、巡礼、贈与、祝祭等について講義した。携帯型ホワイトボードや地図アプリを活用したグループワークを取り入れ、履修者同士のつながりと学修成果の可視化を促進した。
2	民俗学	○	15	年中行事や民俗宗教などの日本の民俗を講義した。地域の民俗を取り入れた七夕飾りの作成を課題とし、学修成果を学生主体の運営で学内公開するなど、学生の主体的な学びを促進した。
3	宗教学	○	15	死者供養、他界観、巡礼等の宗教文化を講義した。地域の健康祈願の調査を通して学生の主体的学びを促進した。ホワイトボード等を活用したGWで履修者同士のつながりと学修成果の可視化を進めた。
4	埼玉研究	○	8	民俗学、生物学、福祉工学の視点から地域を考察する文理融合・対話型講義を運営した。最終成果報告として地域の課題解決をテーマとするポスターセッションを対面で実施した。
5	総合文化研究A	○	8	四国遍路を題材に日本の近現代の地域文化と国やグローバルなつながりを検討した。学生自身の主幹階層での学びを踏まえた多角的分析を指導し、総合的の養成に努めた。
6	教養ゼミナール	○	30	前期は聖地巡礼、後期は年中行事と食をテーマとした。大学生のための健康祈願巡礼の提案（前期）、成人式の行事食の提案（後期）に向けたフィールドワークやプレゼンテーションを実践的に指導した。
7	人間の探求		8	生物学、哲学、言語学、物理学、心理学、脳科学と文化人類学の視点から人間像の多様性についての文理融合・対話型講義を行った。
8	生命の意味		8	生物学、哲学、言語学、物理学、心理学と文化人類学の視点から生命をめぐる正解のない問いについて、文理融合・対話型講義を行った。
9	スタートアップ・セミナー		15	オリエンテーションとキャンパスツアーの教材作成を担当した。各回の講義、運営とPBL学習の指導を行った。
10	助産業務管理		1	「わが国の産育習俗」を担当した。
11	健康福祉社会調査論		8	質的調査法を主に講義した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし			
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし			
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2024.4~2025.1	主指導 2名	副指導 名
2	国際交流基金日本研究フェローシップ	2024.8~2025.8	受入教員 1名	
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	明治大学情報コミュニケーション学部 兼任講師	2024.4~2024.9	宗教学を15コマ担当した。	
2	長野県立大学大学院ソーシャル・イノベーション研究科 非常勤講師	2024.9~2024.11	社会調査論を7コマ担当した。	
3	晃陽看護栄養専門学校 非常勤講師	2024.4~2024.9	社会学を15コマ担当した。	

4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師			
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ 開催年月
1	徳島大学人と地域共創センター公開講座	徳島大学	空海と歩く（同行二人）★～阿波遍路2025学習&トレーニング 2025.2
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	埼玉県立保健医療福祉学会	編集委員	2018.4～現在
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容 期間
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	高等教育開発センター所員	2019.4～現在
2	全学的委員会及びセンター業務等	カリキュラム検討部会（高等教育開発センター）	2024.4～現在
3	全学的委員会及びセンター業務等	入試実施部会	2023.4～現在
4	学科等における委員会等	教養科目担当者会会長代理	2023.4～現在
5	学科等における委員会等	初年次教育担当者会会長	2024.4～現在
6	大学広報活動	オープンキャンパス共通教育科マネジメントおよび入試学習相談担当(3日間)	2024.4～2025.3
7	大学広報活動	大学案内・教室動画撮影協力	2024.4～2025.3
8	学生支援	学生サークル「和装部 和の美」顧問	2024.2～現在
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		